

## No.20 ともに支え合う地域づくり＜介護予防・認知症予防＞ （健康福祉課）

### 令和5年度までにめざす姿

○住み慣れたまちで自分らしい暮らしを送り続けるため、体操を中心とした身近な集いの場を普及し、地域全体で介護予防・認知症予防に取り組みます。

### 令和元年度にめざした成果

- ①いきいき100歳体操の新規開始20集落を目指します。
- ②認知症カフェを新規に1か所オープンします。

### 令和元年度にめざした活動

- ①100歳体操未実施集落に対して委託事業者と連携し実施に向けた支援を行います。100歳体操実施集落の場を活用して住民同士の交流、介護予防や健康教育に取り組みます。
- ②認知症カフェの新規オープンに向けて会場確保、運営方法、ボランティア確保等具体的な支援を行います。

### 令和元年度の成果

- ①いきいき100歳体操の実施集落は目標にはとどきませんでした。新たに8集落で開始されました。交流大会を実施し、参加者同士の交流が図られました。体操普及員リーダーの育成研修会を実施し、協力要員の確保につながりました。
- ②認知症カフェとして協力してもらえる施設を確保できました。

### 令和元年度の問題

- ①実施集落目標(20集落増加)は達成できませんでした。
- ②新規カフェについては、人材等の準備で開設に至っていません。

## 令和2年度以降の方策

### (1) 達成できた事項をさらに伸ばす方策

- ①体操参加者の生活改善や筋力面の効果や集いの場を利用した介護予防や健康教育について未実施集落等へ広報します。継続できるように、専門職がかかわり、モチベーションを保つ工夫をします。

### (2) 解決すべき問題への方策

- ①100歳体操未実施集落の課題解決に向けて、該当集落等との話し合いの場を設けます。
- ②運営に必要な人材確保について、役場だけではなく生活支援コーディネーター、地域振興協議会等と協議します。既存の集いの場の活用を検討します。

### (3) 新たに取組む方策

- ①②生活支援コーディネーターと委託事業者や地域包括支援センター、認知症地域支援推進員との連携を強化します。